

# 令和8年度 病院事務部の運営方針

## 病院事務部の組織体制

病院総務課	医事課
経営企画課	

病院事務部長



田中 妙子


## 基本方針


- 菊川市立総合病院では、令和6年度から令和9年度までの4年間を対象とした第5次病院中期計画（経営強化プラン）を策定し、計画に掲げた目標の達成に向けて、診療部・看護部・診療技術部と連携して経営強化に取り組みます。
- 急性期型地域多機能病院として、地域の救急及び急性期医療を担い、回復期・リハビリテーション機能及び精神科領域における医療機能を発揮して、地域住民の暮らしを支える「つなぐ医療」の役割を果たします。
- 職員一人ひとりが自らの意思で経営に参画し、持続可能でかつ、地域ニーズに柔軟に対応できる病院を目指します。

## 重点的に取り組む施策・事業

1	省エネルギー対策とコストの削減 (病院総務課)	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	3 すべての人に 健康と福祉を			
現状・課題	依然としてエネルギー価格の高止まりが続き、かつ入院患者数の増加によりその使用料も増えており、病院経営へ多大な影響を与えています。また、昨今の手術件数の増加及び人件費・物価高騰の影響により診療材料費及び保守費用が増大しており、更なるコスト削減が必要です。					
取組内容	引続き院内照明器具のLED照明への改修を行い、使用電力の削減を進めます。また、空調設備の長寿命化改修により改修コストの削減を図ります。 診療材料についても、引き続き中東遠5病院での共同購入や昨年度導入した診療材料ベンチマークシステムを活用した価格交渉を進めます。					達成目標 ①節電の取り組みを行い実質使用電力量を前年度比3%削減します。 (令和7年度実績： 前年度比6.9%削減) ②診療衛生材料費予算1%分(598万円)の価格削減効果※を捻出します。 ※価格削減効果 価格削減額 ×年間使用見込数

<b>2 採用活動の強化 (病院総務課)</b>										
<b>現状・課題</b>	<p>ここ数年、看護師、看護補助者、薬剤師の確保が困難な状況が続いております。入院患者が増加する中で、職員の疲弊と離職を防ぎ、質の高い医療を維持するためには早急に人材を確保する必要があります。</p>					<b>達成目標</b>	<p>①病院ホームページ及びインスタグラムに採用情報を年6回以上投稿すると共に、学校にメールやチラシの配布など、直接情報提供を行います。</p> <p>②募集要項の、内容の見直しを行い、Webでの申込受付を開始します。</p>			
<b>取組内容</b>	<p>求人者に向けて組織の魅力を発信するため、学校及び関係機関との関係づくりを推し進め、ホームページ掲載採用情報の充実、SNSを活用した採用情報の提供、募集要項内容の見直し、就活イベント内容の見直しなど職員採用の強化を図ります。</p>									

<b>3 診療報酬請求の適正化 (医事課)</b>										
<b>現状・課題</b>	<p>国の財政状況が厳しい中、診療報酬の引き上げには慎重な姿勢が見られ、病院は増え続けるコストと厳しい経営状況の中で、デジタル化・地域連携への適応や質の高い医療を提供し続けるという大きな課題に直面しています。この様な中、令和8年度は2年に一度の診療報酬改定が予定されており、この改定に適切に対応するためには、早期の情報入手、内容の正確な把握、そして院内全体への浸透が鍵となります。改定直前の短期的な作業ではなく、常に最新の情報をキャッチし、院内全体で共有・連携しながら対応していくことが重要となります。</p>					<b>達成目標</b>	<p>令和8年6月の期限日までに新規・変更のある項目の点検を行い、施設基準の届出を完了します。また、経過措置項目等の届出項目は、基準日までに点検を行い、施設基準の届出及びシステム設定を完了します。</p>			
<b>取組内容</b>	<p>令和8年6月実施の診療報酬改定に向け、情報収集の強化と早期分析、院内連携の強化と情報共有、経過措置項目への継続的な管理と計画的な移行に取り組みます。</p>									

<b>4 菊川市立総合病院第5次中期計画（公立病院経営強化プラン）の推進 (経営企画課)</b>										
<b>現状・課題</b>	<p>全国的な人口減少や高齢化に伴う医療需要の変化に対応し、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、地域の実情を踏まえつつ当院の果たすべき役割や機能を改めて見直し、明確化・最適化することが重要となります。</p> <p>また、中東遠2次医療圏にとって、当院の果たすべき役割は大きく、当院の医療提供体制を安定させることは、地域の医療環境全体の安定化と超高齢社会における安心・安全の確保に繋がるものです。</p> <p>このため、令和5年度に策定した菊川市立総合病院第5次中期計画（公立病院経営強化プラン）を確実に進めていく必要があります。</p>					<b>達成目標</b>	<p>菊川市立総合病院第5次中期計画（公立病院経営強化プラン）で定めた8つの重点課題に係るアクションプランを実行し、病床稼働率を74.6%以上、修正医業収支比率を89.4%以上とします。 (令和7年実績(見込)：病床稼働率 72.7% 修正医業収支比率 82.9%)</p>			
<b>取組内容</b>	<p>令和6年度からの菊川市立総合病院第5次中期計画（公立病院経営強化プラン）の推進にあたり、当院の重点課題である「①高齢者の入院受け入れ体制の強化」、「②外来診療の充実及び病診連携の推進」、「③整形外科領域の強化」、「④チーム医療の推進」、「⑤先制医療、在宅療養後方支援、在宅復帰支援の推進」、「⑥精神障がい者の支援体制の充実」、「⑦組織開発の促進と人材確保」、「⑧組織体制の見直しと業務改革・コスト削減」の8つの重点課題に取り組みます。</p>									